

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2017
12

No.252



第47回オホーツクJA青年部研修大会

青年の主張 最優秀賞受賞にて



第47回 オホーツクJA青年部大会にて 最優秀賞を受賞!

写真/左から、金一善紀・千葉充彦・
西原浩一郎・千葉佑太・河本務・幾島大智・十河考文

管内JA青年部が一同に会し、発表大会・講演等を通じて研修を行い青年部員間の相互交流と組織強化を図る事を目的とした第47回オホーツクJA青年部研修大会が11月9日、10日と温根湯温泉ホテル大江本家にて開催されました。JAつべつ青年部は7名出席し、「オホーツクJA青年の主張発表会」に西原浩一郎さんが参加し、最優秀賞を受賞しました。西原浩一郎さんは12月7日、8日に行われる第66回全道JA青年部大会にオホーツクJA代表として「青年の主張発表会」にて発表致します。

Farmers be ambitious!

農家よ、野望を抱け!

JAつべつ青年部 西原 浩一郎

突然ですが、皆さんに一つ聞きたいと思ひます。

「正しい農業」とはなんでしょうか。

例えば、農作物の量を優先する人、反対に質を優先する人。

作業の速さを重視する人、逆に正確さを重視する人。

機械や施設を積極的に更新する人、または必要最小限に留める人。

皆さんが農業を行う上で目指す目標や夢、理想は様々で今、頭の中に浮かんだ答えは、一人一人異なり、似たような考えの人はいても全く同じ考えの方はいらつしやらないと思ひます。

「正しい農業とは」という問いかけに対して、模範解答はあつたとしても明確な正解はなく、農業者の数だけ答えがあるのではないかと今、私は思ひます。

では、我々「生産者側」ではなく「消費者側」の立場に立つてみると果たしてどうでしょうか? おそらく、「どうして同じ農家なのに違うやり方をしているのだろう」さらには「無農業や自然栽培といった環境に良い農業をなぜやらないのだろう」と思っているのではないのでしょうか。実際に、「農業や化学肥料をどうして使うの?」「自分の所で野菜を加工して売らないの?」「どうして農協から物を買ったり、売ったりするの?」といったことを聞かれたことがあります。

私達からすれば当たり前なことかもしれませんが、消費者からすれば大きな疑問になっていることが多々ある事でしょう。こうした疑問が生じるのは生産者と消費者の間に距離

離感があるためではないかと考えました。他の職業と比較すると農業は人によつて独特なイメージを持たれているのではないのでしょうか。

自然の中でのびのびと働いているといった良いイメージを持っている人もいれば反対にきつい、汚い、かつこ悪いといったイメージを持っている人もいます。悪いイメージを持っていると農業に対して抵抗感やそもそも農業に興味を抱いてくれないため、我々生産者の方から消費者の方に歩み寄る必要があります。では消費者と生産者の間の距離感を縮め、良い印象を持つてもらうにはどうすれば良いか。

私はやはり、多くの人と関わりを持つことのできる我々JA青年部の活動が重要だと考えています。私も以前は農業に対して悪いイメージを持っていました。農業には明確な正解があると考え、現在の日本の農業には問題が多く間違っていると考えていました。ですが帯広畜産大学での学生生活が持っていた考え方を考えるきっかけを与えてくれました。そこで同年代の農業に関心がある人達や多くの生産者と出会う機会に恵まれました。自分とは異なる考え方を聞き、広い視野で農業を見つめることの大切さ、現在の農業は、今日に至る農家一つ一つの歴史が積み重なつて成り立っているということを実感しました。

こうした経験を得て、私の持っていた農業のマイナスのイメージは次第に薄れ、良い悪いというだけの視点ではなく、「自分にしかできない農業をしたい」という思いが強くなり、就農を決意しました。



私がそうであったように消費者の持つイメージを変えるにはきつかけが必要です。消費者と対話してお互いの価値観を共有し、農業について少しでも理解してもらうことがきつかけの一つになると思います。消費者が持つている疑問に答え、我々が行っている農業のことをしっかりと伝えていく。そうした小さな活動を積み上げていくことによって、やがては大きな力となり、農業に対するイメージを変えていくことが出来るのではないのでしょうか。その中でも私が特に有効だと考えるのは、食農教育活動です。

子どもの頃に農業を実際に体験することによって大人になった時、農業について考える

一つのきつかけになります。

もしくは農業を可能性のある職業と捉え積極的に関わりたいと思い、就農を考えてくれるかもしれません。更に私はこの食農教育活動をもっと発展させてはどうかと考えます。それは、小学校や中学校で農業の科目を設けることです。そもそも国語や数学、理科や社会があつてどうして農業がないのでしょうか。人が生きるために欠かせない食べ物を生み出すのは農業です。その農業について学ぶ機会が少ないのはもったいないと思います。

農作物の収穫や加工といった農業の極二部だけ伝えるのではなく、そもそも土とはなんなのか、農業を何故使うのかといった基本的なことはもちろん、今の農業がどのようにして形成されたのかといった歴史などを知ってもらうのも良いでしょう。

農業は良い悪いで判断されるのではなく、生産者の数だけ目標や夢があり、無限に正解があるということを子ども達に知ってもらいたいです。

私が所属するJAつべつ青年部でも食農教育活動を行っておりますが、部員全員で取り組んでいるという訳ではなく極一部の人で行えておらず、活発に活動できていないのが現状です。また、対象としている子ども達が少人数ということもあり、同じ地域にいるのに地元の子ども達に幅広く農業のことを伝えられておりません。ですが地元の農家だからこそ、子ども達に我々の姿をしつかり伝えるべきだと思います。まずは部員一丸となった体制作りを行い、そして対象を拡げるためにも地域や各関係機関とともに今一度、食農教育活動の意義を学び、明確な目標を設定してはどうかと考えます。



そのためにも、まずは私自身が青年部の活動に積極的に関わり、私にしか、青年部にしかできない活動を行っていきたいです。一人一人が出来ることが限られていますが、仲間で協力し合えば多くのことが可能になると考えています。それぞれが持ち味を活かし日本の農業に貢献していく。その様な形で青年部に関わっていきたいと思っています。

正しい農業とは。そんな疑問から始まった今回のメッセージ。食農教育活動を通して消費者との向き合い方を真剣に考えるうちに、私の中でもう一つ野望が生まれました。それは一人でも多くの人に日本の農産物を食べてもらうことです。当たり前のことだと思われるでしょう。ですがこの当たり前のことを私も含め、我々農業者は果たさせているでしょうか。

か。ご存知の通り日本の食料自給率（カロリーベース）は39%と低く、農産物を海外からの輸入に依存している傾向にあります。海外の大規模農業に対して価格で勝負するのは難しいでしょう。

日本の農業は後継者不足により衰退が懸念されており、このままでは農産物の価格差はますます開き、多くの日本人が海外の農産物を食べ、極一部の人にしか日本の農産物を食べられないという状況になってしまっています。自国の胃袋を海外の農家が賄っているという現状は、農家としてとても悔しいです。日本の農家であるのなら自分たちの手で日本の食料自給を賄いたい。安定供給を行い、価格変動を少なくし、価格で勝てないのなら見た目や味といった品質で勝負する。それを判断してもらうためにも、青年部活動を通して農業の魅力や価値をもっと知ってもらいたい。

「日本人1億2500万人の胃袋を我々日本の農家が満たす」それが私の野望です。



迫田 隆氏 快挙!



写真/ (左) 迫田 悟さん (右) 迫田 隆さん

農林水産大臣賞受賞!
つべつ和牛に新たな栄冠!

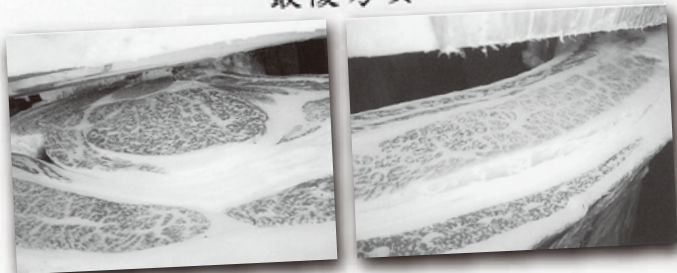
第57回農林水産祭参加行事である平成29年度第46回全畜連肉用牛枝肉共進会第二部黒毛和種去勢牛の部が、平成29年11月16日に東京都中央卸売市場食肉市場において開催されました。

今回の共進会は、全国各地から第1期生体選抜検査に合格し、第2期生体比較審査に合格した60頭が出品され、日頃から優秀な肥育成績を残している錚々たる出品者の中から、迫田隆氏出品牛が、最優秀賞を受賞されました。

「モモ抜け、肉色、脂質に優れ、非常にキメがよく、細かいサシがまんべんなく入っており、肉質均称に優れた最優秀賞に相応しい出品牛」として評価を頂きました。

平成29年度 全畜連肉用牛枝肉共進会 黒毛和種去勢牛の部

最優秀賞



出品者: 津別町 迫田 隆 様

血統: 光平照 × 百合茂 × 美津福 (去勢)

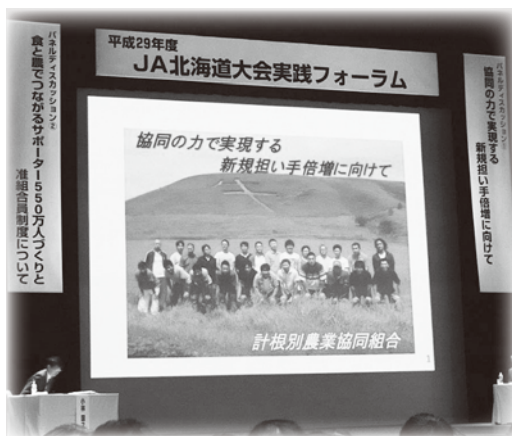
29ヶ月齢 A-5等級

枝肉重量529kg BMS No. 12 ロース芯面積79cm²

受賞した迫田隆さんは「全国の共進会には前沢牛、米沢牛、鹿児島牛、仙台牛といった数々のブランド牛が出品されている中で最優秀賞を頂けたことは自分でもびっくりしたのですが、大変嬉しくまた、誇りに思います。家族全員で愛情込めて育てたおかげです。これを機に『つべつ和牛』が全国に広まるよう日々精進していきたいと思います。」と話してくれました。

平成29年度 JA北海道大会実践フォーラム開催

全道各地から
JA組合長、JA青年部、JA女性部、
消費者約1,000人が参加



JAグループ北海道は11月21日、札幌市でJA北海道大会実践フォーラムを開催しました。JAつべつからは、常勤役員、金二青年部長、迫田女性部長等6名が参加しました。

第28回JA大会で決議されたJAグループの目指すべき方向を北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』を掲げ2年目を迎え、昨年に引き続き実践の取組活動の共有を図り、各地の実践事例活動の報告や情報を広くJAグループ内外に発信し、31年5月末までの自己改革実践基盤に於いて確実な基本目標の達成に繋げていく目的で開催されます。

担い手倍増に向けては、JAけねべつの実践事例報告、550万人サポーター作りについては、JAひがしかわの事例報告がされ、それぞれの事例について、各界からパネリストによるパネルディスカッション方式で議論されました。

JAけねべつの担い手確保の取組として、まずは地域から人を減らさない強い意識を持つ、JAひがしかわの取組として、JAを知ってもらい、JAに近づいてもらい、喜んでもらいJAに参画してもらう事での取組事例の発表され、パネリストでもある道生協連の副会長である山口氏からは、JAと生協で連携した地域づくりを一緒にやって行こうとの話もありました。

組合員の事業利用規制議論のある中で、准組合員が協同活動への参画を通じて、地域に果たしている機能は大変重要であり、それぞれ協同組合の原則で成り立っていることからコープ組合員28万人とは一緒にやっていくべきではないか、正であっても准であってもJA事業を支えているので連携が必要であると話もありました。

地域の担い手は地域で育成することを基本にし、地域活性化プロジェクトとして取り組んでおり、各種就農者支援対策・確保に向けた出向く対策・就農を目指す研修生、担い手などに対する支援策、更には担い手に対するJAのバックアップ体制を構築し「継続将来への約束を合言葉」に取り組みを進めています。

550万人サポーター作りのテーマでは、JAひがしかわの取組として、JAを知ってもらい、JAに近づいてもらい、喜んでもらいJAに参画してもらう事での取組事例の発表され、パネリストでもある道生協連の副会長である山口氏からは、JAと生協で連携した地域づくりを一緒にやって行こうとの話もありました。



農業サポート事業・農業労働力支援協議会

農業総合サポート事業を須高するためには、オペレーターを中心とした、労働力確保が急務となっております。その具現化を図るべく「津別町農業労働力支援協議会」を9月5日に関係機関等の協力を頂き設立致しました。労働力確保への環境整備を進めることで持続可能な津別農業の確立と地域作りを目指し、国の補助事業を受けて進めますので、調査等がありましたらご協力お願い致します。

実施事項

- ①地域の労働力需給調査の実施とデータベース化(現在、組合員向け調査依頼をしていますので期日までに提出される様ご協力をお願い致します。)
- ②転職スペシャルフェアへの参加
- ③他産業、他産地との連携会議
- ④JAおきなわとのマッチング協議(オホーツク地区連携)
- ⑤他産地及び全国会議への参加
- ⑥RTK基地局の設置(11/17より配信開始)
- ⑦コントラに対するGPS自動操舵システムの導入





JA情報館

だいちとうみの会



11月17日(金)、第10回コープさっぽろ農業賞表彰式が、札幌パークホテルにて開催されました。

コープさっぽろ農業賞では、「食の安全や環境との調和を図り、先進的で持続可能な農漁業の取組みの中で、消費者との交流を積極的に行う生産者等を応援する」というコンセプトの元、2004年にスタート、今年3年ぶりの開催となりました。

そして、交流部門、奨励賞に日頃の取組みが評価され「だいちとうみの会」会長山田邦雄(網走漁協組合長)が受賞となりました。これで、北海道開発局主催の『わが村は美しく北海道』での奨励賞に続いての受賞となりました。

農業法人会視察研修会報告



11月21日
～22日、津別
町農業法人会
(竹原俊博会
長・会員数20)
は、平成29年
度視察研修会
を有限会社興
農社(上富良
野町)、JAふら

のたまねぎ茎葉処理施設(富良野市)、有限会社新札内生産組合(中札内村)の各農場、施設の取組みに関する講演会と視察を行いました。農業法人の取組みでは、長年、農業経営で地域とのかかわりや従業員との関係性を創りあげてきたこと、JGAP取得や労務管理などを学習してきました。JAふらは、玉葱集荷の一つとして、一部収穫作業の請負と茎葉処理専用施設の運営により農家の労働力不足の解消を図っていることを見学し、会員は今後の経営に生かしていくことと、農家だからできないのではなく、法人として他の産業に劣らない経営をしていくことを確認しました。

牛肉振興会 つべつ和牛30kg 学校給食へ提供



10月30日に津別町教育委員会(学校給食用)へ、つべつ和牛牛肉30kgを肉牛振興会副会長北野淳志さんが振興会を代表し寄贈致しました。

学校給食を通じて、津別町で収穫された食材を使った給食を児童に食べてもらう活動を教育に取り入れています。今回の寄贈食材もオールつべつ食材を園児童たちに給食として提供されとの事です。

女性部・フレミズ パンづくり



11月29日、日本甜菜製糖株式会社のご厚意で食品事業部の高柳太志氏を講師に派遣していただき津別産小

麦を使ったパン作りを開催しました。

日甜では、酵母も販売しておりエゾヤマザクラのさくらんぼから分離された“とかち野酵母”と生イーストを使用しました。ふっくらなめらかな生地を使い、食パン、ロールパン、菓子パンなどを焼き上げました。講師の高柳氏は、パン職人のコンテストで入賞経験があり参加者もメモをとりながら熱心に講習を受けていました。昼食にいただいたパンも絶品でした。身近で、プロの技を見る事が出来充実した講習会となりました。

とかち野酵母は予備発酵が不要でホームベーカリーや手ごねに直接使用できるので、パン作りに興味を持たれた方は是非試してみてはいかがでしょうか。

漬物講習会開催



11月24日女性部とフレッシュ・ミズ合同で14名が参加し漬物講習会がおこなわれました。

女性部員が講師となり、「わさび漬け」「きゅうりと聖護院のかす漬け」「鮭のはさみ漬け」「塩麹漬け」を説明を受けた後実際に漬けてみました。野菜は、夏に収穫したものを塩漬けにした物や冷凍にしてあったものなどを使用しました。フレミズ会員からは、漬物は難しいと考えていたが簡単な方法もある事を知りこれならやってみようという声も聞かれました。

漬物作りを通してフレッシュミズと女性部の良い交流ができました。

続 今こそJA!

第四回

JAの地域貢献①

JAは組合員だけでなく、地域で生活する多くの人達にとっても大きな役割を果たしています。北海道には銀行やスーパーやガソリンスタンドなどでJAが運営する施設しかない町村が数多く存在していますが、こうした地域の住民にとってJAは不可欠な存在であり、JAが地域に貢献している事例も数多くあります。

道北の中頓別町は人口約1700名の小さな町であり、JA中頓別の正組合員戸数は42戸です。町内において生鮮食品や日配品を取り扱う店舗はAコープ中頓別店しかありません。そこで店長は組合員や消費者が満足してもらえるお店にするにはどうしたら良いかを考えました。その結果、ロスを恐れず商品数をしっかり揃えることで魅力あるお店づくりを心掛け、商品を軽ワゴンに積み込んで組合員に直接販売するなど新たな取り組みを行い、さらに店長自ら催事スペースを製作したり、店舗の入口にスロープを取り付けることで高齢者の安全にも配慮しました。こうした組合員や消費者に喜ばれるお店づくりを通じて売上高や来客数を伸ばしています。

組合員や地域の人達の信頼を受けながら地域とともに生きる。これが真のJAのあり方ではないでしょうか。



第五回

JAの地域貢献②



北海道の商業店舗数は減少傾向が続いており、特に町村部で大きく減少している状況にあります。週末に車で遠くの大型店舗へ買い物に行くことができれば問題はないのかもしれませんが、近くに店舗が無ければ生活にも支障をきたすことになります。

こうした買物対策の一環として、JAグループでは食料品等の生活物資を車に積んで巡回販売を行う移動販売車の設置に力を入れています。現在、ホクレン系の「実り恵み号」のほかJA独自で運行しているものなど含め全道で13台が運行しています。

店舗が無い地域での買物はもちろんのこと、高齢者や家事に忙しい母親などの負担軽減に役立つばかりではなく、JAと組合員とのコミュニケーションに一役買っています。

また、最近では移動販売車の運営にもJA毎に工夫を凝らしています。留萌管内のJAオロロンでは北海道信連と連携し、貯金の入出金ができる機能を搭載した移動販売車を導入することで組合員の利便性を図っています。

地域から人を減らさないためには生活基盤をしっかりと守ること。JAの地域貢献は様々な形で行われています。

年金友の会情報



JAつべつ年金友の会
2017.10.31 東北・道南を巡る4日間

JAつべつ年金友の会(会長 下川敏章)では例年、会員相互の交流・親睦を図る事を目的として年1回道外旅行を実施していますが、本年度も参加希望者28名(男性15名・女性13名)の出席のもと10月30日から3泊4日の行程にて『北海道新幹線利用!! 東北・道南を巡る4日間』(仙台・松島・函館方面)を実施致しました。

初目的の地である『青葉城址』に到着しました。初代仙台藩主の伊達政宗騎馬像を見学し仙台市内を一望し、1日目の宿泊地『秋保温泉 篝火の湯 緑水亭』に到着後、懇親会を実施し現地の郷土料理や地酒を嗜みながら参加者相互の親睦を図り、懇親会の最後には年金友の会恒例の『北海盆歌』で懇親会を締めくくりました。

2日目は、日本三景の一つとして知られる『松島』にて集合記念撮影をした後、遊覧船で松島湾を大小260余りの島々や自然を満喫しながら周遊しました。その後、伊達政宗の菩提寺である国宝『瑞巖寺』を拝観し、一行は昼食会場の『松島蒲鉾本舗』にて仙台名物の蒲鉾を堪能したのち、東北地方最古の桃山建築である『五大堂』を見学後、バスにて北上し『鳴子峡』に到着、断崖絶壁と溪流が織り成す景勝の地から見る紅葉と雄大な自然は絶景でありました。

2日目の宿泊先である鳴子温泉郷の『鳴子観光ホテル』は宮城県の北西部に位置し、こけしの故郷として知られており源泉が約300以上集中する名湯と、自然豊かな景観でありました。

3日目には、広大な境内と浄土庭園を有する国宝『毛越寺』を拝観し、東日本随一の平安仏教美術の宝庫であり世界遺産になった『中尊寺金色堂』を拝観、参加者はその美しさ



JAつべつ年金友の会
2017.11.1 函館山

に感動していました。『平泉レストハウス』にて昼食後、一行は東北を更に北上し盛岡市より昨年開業した『北海道新幹線』に乗車し約2時間かけて青函トンネルを経由し北海道に到着しました。新函館北斗駅から『函館山』に到着し、直前までの降雨も上がり絶好の『函館山』から見る夜景をバックにして集合記念撮影しました。

その後、夕食会場の『遊膳炙家 沙羅の月』にて会食後、3日目の宿泊先である函館市内の『ラピスタ函館ベイ』に到着致しました。朝食が美味しいホテルランキング全国1位にも輝いた朝食を満喫したのち、最終日である4日目は港風情溢れる『赤レンガ倉庫』を見学し、『北島三郎記念館』では沢山のグッズを買い、演歌界の大御所である北島三郎の魅力を満喫しました。

その後、『五稜郭タワー』で函館市内を一望し、『函館朝市』にて昼食後沢山のお土産を片手に日本最初の観想女子修道院である『トラピスチヌ修道院』を見学後、一行は函館

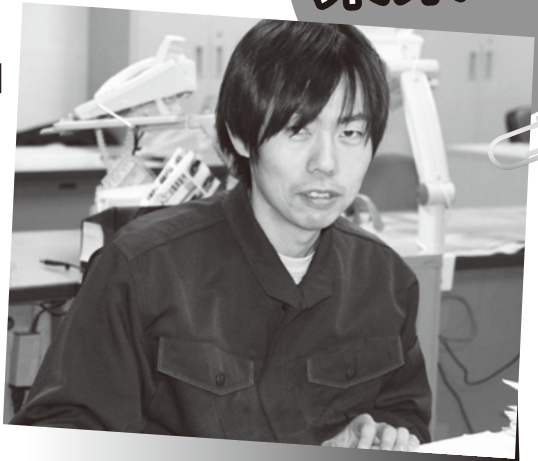
空港に到着し、新千歳空港経由にて一路飛行機にて帰路につきました。
3泊4日の今年度の道外旅行を振り返ると出発日の悪天候に懸念を抱きましたが、各行程で天候にも恵まれました。また、3日目には新幹線に乗車という事で負担はありましたが、全ての行程を会員相互のご協力のもと無事に終了することができ、道外旅行期間中に於いては、体調を崩される参加者や怪我等もなく参加された会員は笑顔と満足した表情で沢山のお土産とともに無事に津別町に到着致しました。

第5回 囲碁大会結果

開催日:平成29年11月21日(火)午前9時~午後1時
開催場所:JAつべつ 3階 休憩室 (参加者/6名)

優勝	三島 宏章 (四段格)	4勝
準優勝	今井 保 (三段)	3勝1負
3位	竹内 武二 (五級)	2勝2負
4位	下川 敏章 (四段格)	2勝2負
5位	金田 哲男 (二段)	1勝3負

「人一倍に努力し、組合員との約束は必ず守る職員でありたい」



岩川智樹さんは昭和59年1月23日生まれ33歳。札幌出身、札幌第一高等学校卒業後、酪農学園大学へ入学、卒業後、飼料販売会社へ8年間勤務、その後津別町農業協同組合へ入組。現在2年目であり、所属部署は経済部生産資材課に配属し肥料、緑肥、温床資材、廃プラ業務を担当。また、今年1月に結婚し公私共に充実している職員です。

組合員の動向を 見据えての業務を心がける

担当業務についてお話を伺った所、岩川さんは「生産資材課

は組合員が求めている資材を迅速、確実に供給していく課ですので、常に組合員の農作業の状況や必要であろう資材を見据えて業務をしています」とお話ししてくれました。また、「私はまだまだ肥料もそうですが、全体的に知識が足りないのでもっと知識を高め今以上に組合員と会話し、ニーズに応じて行けるようになりたい」と心の内を教えて頂きました。

組合員に頼られる職員に

岩川さんは農協職員として一番に目標としている事は「頼られる」事で、その為には組合員との約束は必ず守っていきたい。その結果、組合員との信頼が出来ていくと話して頂きました。取材の中で多くの言葉にしていた「頼られる」の言葉には少しでも組合員の為に力になりたいという岩川さんの気持ちが詰まった言葉だと感じました。

第十回理事会報告

開催日
10月31日

報告事項

報告事項

- ① 平成29年9月末財務状況について
- ② 余裕金運用実績について
- ③ 組合員の異動状況並びに持分譲渡について
- ④ 平成29年度自己資本（出資金）造成の概要について
- ⑤ 平成29年度給与及び諸手当の改正について
- ⑥ 寒冷地手当の支給について
- ⑦ 第3回内部審査結果報告書及び回答について
- ⑧ 常任委員会の頼末について
- ⑨ 平成28年度種子馬鈴薯本精算について
- ⑩ 各利用事業の収支見込について
- ⑪ 各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
- ⑫ 各課報告事項

付議事項

議案第1号

年末手当の支給について

議案第2号

平成29年度農産物の概算払い基準について

議案第3号

理事に対する利益相反取引について
（経営所得安定対策仮渡金・資金の貸出）

議案4号

資産査定要領に基づく担保評価基準の見直しについて

議案第5号

南瓜へプタクル損害対策費の支出について

議案第6号

平成30年度営農計画書の審査方針並びに基準について

協議事項

① 地域懇談会の班編成及び提案事項について

② 平成30年度事業計画の策定について



農業者年金で生涯所得の確保を!



- あなたの老後生活への備えは十分ですか?
- 年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。
- 老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。

農業者年金 へは…



の方ならどなたでも加入できます。

月々の保険料を大きくすることで将来の支給額を増やせます

農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで(千円単位で)加入者が自由に選択できます。また、保険料の額はいつでも見直しできます。

加入期間が短くても保険料を増やすことで豊かな老後に備えることができます。
※脱退も自由ですが、脱退された場合でも脱退一時金としてではなく、将来、年金として支給されます。



農業者年金に加入すれば～農業者年金の支給額(年額)の試算				
加入年齢	加入年数		保険料月額 4万円の場合	保険料月額 6万7千円の場合
40歳	20年	男性	60万円	100万円
		女性	50万円	84万円
50歳	10年	男性	27万円	44万円
		女性	22万円	37万円

※この試算は、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以降の予定利率が0.20%となった場合の試算です。制度発足以降14年間(H27まで)の運用利回りの平均は、年率2.73%です。予定利率は、毎年度農林水産省告示により定められ平成29年度は0.20%です。
※各金額は単位未満を四捨五入により表示しています。

農業者年金の特徴

税制面で大きな優遇措置があります

支払った保険料は全額社会保険料控除の対象となります

保険料控除分の節税額(所得税・住民税)の目安

課税対象所得	税率	保険料月額4万円 (年額48万円) の場合	保険料月額6万7千円 (年額80万4千円) の場合
195万円以下	15.1%	7万2千円	12万1千円
195万円超 330万円以下	20.2%	9万7千円	16万2千円
330万円超 695万円以下	30.4%	14万7千円	24万5千円

※保険料支払分で控除される所得税+復興特別所得税+個人住民税の額の試算です。保険料支払後も保険料支払い前と適用される税率に変更がないものとして試算しています。



年金資産の運用実績

年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
修正総合 利回り (%)	-4.65	+5.99	+3.40	+9.80	+3.27	-4.73	-9.25	+9.14	-0.06	+2.36	+9.62	+7.75	+8.78	-0.69

平均運用利回り 年率で+2.73%

- 積立方式・確定拠出型の年金です。制度発足以降14年間の運用利回りは、年率で+2.73%です。運用益は非課税で年金原資として積上がります。
- 保険料の全額社会保険料控除の税制優遇措置もあります！
農業者年金の保険料は2万円から6万7千円まで（千円単位で）加入者が自由に選択できます。また、保険料の額はいつでも見直しできます。
- 終身年金です。80歳までにお亡くなりになった場合、死亡一時金があります。
農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取ることができます。（60歳からの繰上げ受給も可能です。）
仮に80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額を、ご遺族（死亡者の死亡当時に同一生計であった、配偶者、子、父母、孫、祖父母又は兄弟姉妹の順位）に死亡一時金として支給されます。
- 納められた保険料につきましては、途中で脱退されても脱退一時金はありません。将来、年金として支給されます。
- 脱退された方も、加入要件を満たせばいつでも再加入できます。

詳しくは…

農業者年金基金

検索

<http://www.nounen.go.jp>



農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金

津別町農業委員会 ☎76-2151 / JAつべつ ☎76-3322



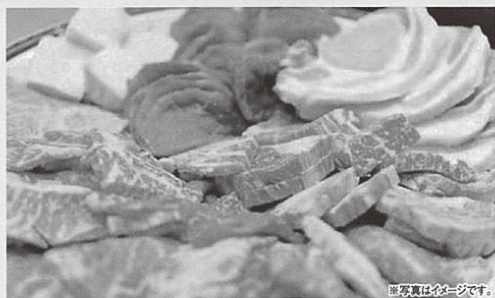
みんなの北海道

ドドーンと 2017 WINTER キャンペーン

ちよ

キャンペーン期間: 11/1(木) ▶ 12/29(金)

定期貯金、定期積金を一定の条件でお預けいただいたお客様に
抽選で全道合計5,500名様にプレゼント!



お肉 ドドーンと お米
どちらか選べる!
A賞 200名様

ドドーンと北海道産肉詰合せ
20,000円相当
(牛・豚/3kg)

北海道産肉(3kg)セットまたは
北海道産米(60kg)の
どちらかおひとつをお選びいただけます。



ドドーンと北海道産米1俵
25,000円相当
(北海道産米/60kg)

B賞 ドドーンと選べる!
JA特産品2点セット
400名様

全道のJAから新鮮な農畜産物を厳選して集めた
“全道のJAおすすめ特産品”から
2品(7,000円相当)をお選びいただけます。



C賞 ドドーンと選べる!
JA特産品1点
500名様

全道のJAから新鮮な農畜産物を厳選して集めた
“全道のJAおすすめ特産品”から
1品(3,500円相当)をお選びいただけます。

Wチャンス 各賞にハズレてもチャンス!
JA特産品1点
または農協商品券を
4,400名様

全道のJAおすすめ特産品(3,500円相当)
または
農協商品券(2,000円相当)
ご希望のどちらかを
プレゼントいたします。

BRUNO × CHORIS ドドーンと先着で!
ランドリーネットプレゼント!

プレゼント応募条件
対象商品(受入条件)

定期貯金
(1年以上)
新規または増額10万円以上

定期積金
(1年以上)
契約額12万円以上

●対象者/個人の方に限ります。
●抽選の権利/定期貯金(1契約10万円につき1口)
定期積金(1契約12万円ごとに1口)
※お一人様何口でも応募可能です。※増額積金の場合は、増額分のみ対象。



さらに! JAカード等を新規申込の方に
バスタオルプレゼント!

※プレゼント条件につきましては、お近くのJA窓口へお問い合わせください。

ファイターズ
ドリームシート
CHNF

JAバンク北海道は
ファイターズドリームシートを応援しています

【応募方法】窓口でお渡しの応募用紙に必要事項を記入し、窓口へお持ちください。
【当選発表】商品のお届けをもって代えさせていただきます。(案内は平成30年3月予定)
【注意事項】※当選後の権利の譲渡、商品の交換・換金には応じられません。※今回お預入された定期貯金または定期積金を中途解約された場合は当選の権利を失います。



JA つべつ

ウィンターキャンペーン

平成 29 年 11 月 1 日(水) ~ 平成 30 年 1 月 31 日(水)

定期貯金 10 万円以上 1000 万円未満

●期間 1 年 店頭金利 0.01% × 10 倍 = **0.10%**

●期間 2 年 店頭金利 0.01% × 15 倍 = **0.15%** !!!

●期間 3 年 店頭金利 0.01% × 20 倍 = **0.20%**

●期間 4 年・5 年 店頭金利 0.01% × 10 倍 = **0.10%**

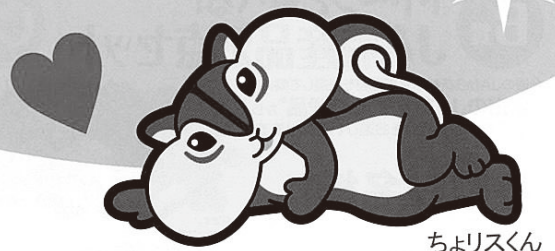
* 粗品プレゼント *

100 万円以上 新規契約のお客様に対して、期間中 1 名義に限り 1 回
玉ねぎ 10 ㎏もしくは馬鈴薯 10 ㎏をお届け致します。

※配送予定 … 11 月契約 12 月 20 日頃・12 月契約 1 月 20 日頃・1 月契約 2 月 20 日頃配送となります。

<対象条件>

- ①対象者 個人
- ②大口定期・シルバー定期は対象外です
- ③スーパー定期貯金 1 年以上
- ④受入金額 10 万円以上 1000 万円未満の新規または増額書替（満期時の利息分は増額に含めません）
- ⑤上記条件を満たした普通貯金および定期積金からの定期貯金預入は対象と致します。
- ⑥定期積金満期後、減額されて定期貯金を契約された場合、新規とみなしキャンペーン対象と致します。



ちよリスくん

↓ 詳しくは下記連絡先まで、お気軽にお問い合わせください♪

津別町農業協同組合 貯金共済課（川瀬・山本・本間） ☎ 77 - 3170

12月の 主な行事

12月11日	月		25日	月	
12日	火		26日	火	役員選任制度検討委員会 地区担い手農地部会
13日	水	TMRセンター会議	27日	水	
	木	企画会議	28日	木	
14日			29日	金	仕事納め
15日	金	だいち取締役会 北見施防協	30日	土	
		三JA理事研修会 ~16日	31日	日	元旦
16日	土		1月 1日	月	
17日	日		2日	火	
18日	月	農地崩落PT 労働力ワーキング意見交換会	3日	水	
19日	火	経済委員会 年金友の会役員会	4日	木	貯金営業日
20日	水	農業振興計画推進委員会 施肥相談会	5日	金	貯金営業日
		スマート農研会議 甜菜立会人慰労会	6日	土	指定休日
21日	木	監事研修会 施肥相談会	7日	日	
		だいちとうみの会幹事会	8日	月	
22日	金	総務委員会 理事会	9日	火	仕事始め 新年会
23日	土		10日	水	
24日	日		11日	木	

速報!

地区懇談会出席状況

12月4日、5日の2日間地区懇談会を開催致しました。
懇親会では平成29年度の主要事業の動向、総合サポート事業、営農支援セン
ター構想等の方針説明を行いました。各地区の出席状況は下表の通りです。
様々なご意見を伺う事が出来ました。今回頂いたご意見と回答は別途報告
させて頂く予定です。

地区懇談会
全体出席率

50.3%

	理 事	12月4日(月)		12月5日(火)	
		AM9:30~12:00	PM1:30~4:00	AM9:30~12:00	PM1:30~4:00
第1班	宮川常務 眞鍋理事 石川理事	第2営農組合 24戸(活汲) 出席率/29.2%	第1営農組合 6戸(東岡) 出席率/66.7%	第3営農組合 12戸(岩富) 出席率/58.3%	第4営農組合 16戸 (東達美・達美・西達美・最上) 出席率/62.5%
第2班	岡本参事 佐野代行 池田理事	第6営農組合 11戸(美都・上里) 出席率/45.5%	第5営農組合 19戸 (豊永・上高台・豊岡) 出席率/31.6%	第7営農組合 12戸 (高台 1・1) 出席率/50.0%	第8営農組合 11戸(共和) 出席率/45.5%
第3班	山下組合長 安部理事 金一理事	第9営農組合 14戸(恩根) 出席率/64.3%	第11営農組合 9戸(布川・相生) 出席率/77.8%	第10営農組合 13戸(大昭) 出席率/76.9%	第12営農組合 18戸 (双葉・沼沢・本岐・木樋・二又) 出席率/38.9%